

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年11月16日～2028年 9月15日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主 要 投資対象	為 替 ヘ ッ ジ 有 り	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為 替 ヘ ッ ジ な し	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド
(為替ヘッジあり/隔月分配型) (為替ヘッジなし/隔月分配型)
(為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/資産成長型)
(愛称：選択の達人)

運用報告書 (全体版)

隔月分配型

第17期 (決算日 2021年11月17日)

第18期 (決算日 2022年 1月17日)

第19期 (決算日 2022年 3月17日)

資産成長型

第 7 期 (決算日 2022年 3月17日)

(作成対象期間 2021年 9月18日～2022年 3月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3379>
<3380>
<3381>
<3382>

為替ヘッジあり／隔月分配型

最近 15 期の運用実績

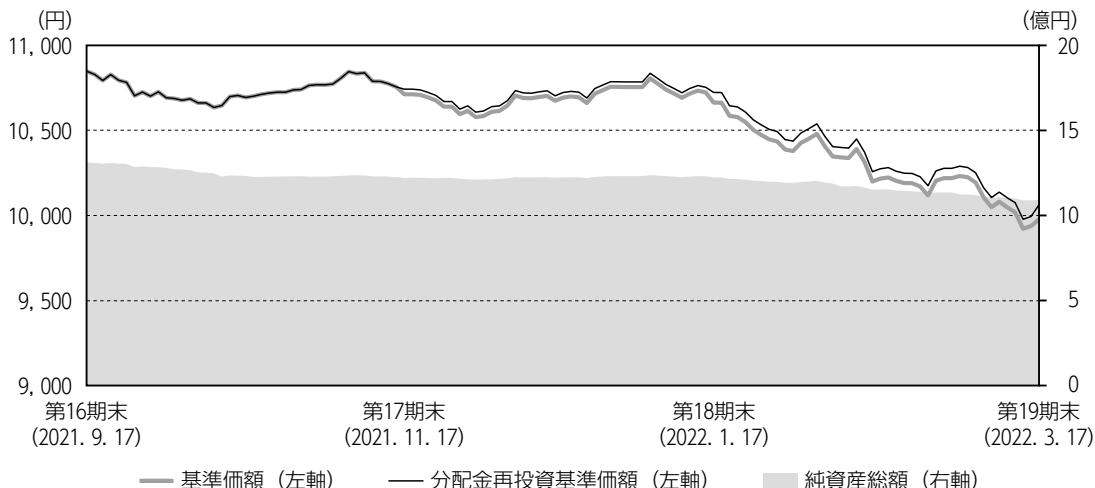
決 算 期	基 準 価 額					公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分	み 金	期 騰 落	中 率			
	円		円		%	%	%	百万円
5 期末 (2019年11月18日)	10,622		30		1.2	—	99.2	1,144
6 期末 (2020年 1 月17日)	10,799		30		1.9	—	98.9	1,330
7 期末 (2020年 3 月17日)	9,228		30	△	14.3	—	98.9	1,275
8 期末 (2020年 5 月18日)	9,608		30		4.4	—	99.5	1,354
9 期末 (2020年 7 月17日)	10,188		30		6.3	—	99.5	1,377
10期末 (2020年 9 月17日)	10,368		30		2.1	—	98.8	1,353
11期末 (2020年11月17日)	10,572		30		2.3	—	99.0	1,358
12期末 (2021年 1 月18日)	10,682		30		1.3	—	99.2	1,299
13期末 (2021年 3 月17日)	10,503		30	△	1.4	—	99.1	1,305
14期末 (2021年 5 月17日)	10,613		30		1.3	—	99.2	1,294
15期末 (2021年 7 月19日)	10,763		30		1.7	—	98.7	1,270
16期末 (2021年 9 月17日)	10,848		30		1.1	—	99.1	1,310
17期末 (2021年11月17日)	10,713		30	△	1.0	—	99.4	1,221
18期末 (2022年 1 月17日)	10,664		30	△	0.2	—	99.2	1,223
19期末 (2022年 3 月17日)	9,977		30	△	6.2	—	99.4	1,093

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第17期首：10,848円

第19期末：9,977円（既払分配金90円）

騰落率：△7.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している投資適格社債やハ

イールド債券などの下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 率
			騰 落 率		
第17期		円	%	%	%
	(期 首) 2021年 9月17日	10,848	—	—	99.1
	9 月末	10,726	△ 1.1	—	99.0
	10月末	10,765	△ 0.8	—	99.0
第18期	(期 末) 2021年11月17日	10,743	△ 1.0	—	99.4
	(期 首) 2021年11月17日	10,713	—	—	99.4
	11月末	10,615	△ 0.9	—	99.5
	12月末	10,755	0.4	—	99.5
第19期	(期 末) 2022年 1月17日	10,694	△ 0.2	—	99.2
	(期 首) 2022年 1月17日	10,664	—	—	99.2
	1 月末	10,379	△ 2.7	—	99.2
	2 月末	10,205	△ 4.3	—	99.0
	(期 末) 2022年 3月17日	10,007	△ 6.2	—	99.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 9. 18 ～ 2022. 3. 17)

■海外金融市況

海外金融市場では、金利上昇が進み、投資適格社債等の投資対象資産が下落しました。

海外株式市場は、当作成期首から2021年9月末にかけて、世界的なインフレ懸念などを背景に上値の重い展開でしたが、10月に入ると、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、上昇に転じました。その後は、C P I（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次ぎ、年末にかけて株価は堅調に推移しました。2022年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締めへの懸念が高まったことに加え、ロシアのウクライナ侵攻開始の影響を受け、当作成期末にかけて成長株を中心に下落しました。

海外債券市場は、当作成期首より、物資の供給制約長期化を背景にインフレへの懸念が高まったことから金利は上昇基調で始まりましたが、2021年10月以降は、新型コロナウイルスの新変異株への懸念などを背景に、金利は軟調に推移しました。2022年に入ると、F O M C（米国連邦公開市場委員会）後の会見でF R B議長が毎会合での利上げの可能性を否定しなかったことから、金利は上昇しました。2月後半は、ロシアのウクライナ侵攻を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利は一時低下する場面もありましたが、世界のエネルギー調達問題とインフレ動向に注目が集まり、当作成期末にかけて再び金利上昇となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する

証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021. 9. 18 ~ 2022. 3. 17)

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期
	2021年9月18日 ～2021年11月17日	2021年11月18日 ～2022年1月17日	2022年1月18日 ～2022年3月17日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.28	0.28	0.30
当期の収益 (円)	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	939	941	945

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 31.77円	✓ 32.28円	✓ 33.67円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	449.45	455.57	456.09
(d) 分配準備積立金	488.34	484.04	485.81
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	969.57	971.90	975.59
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	939.57	941.90	945.59

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第17期～第19期 (2021. 9. 18～2022. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,571円です。
（投 信 会 社）	(17)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(40)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	60	0.563	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

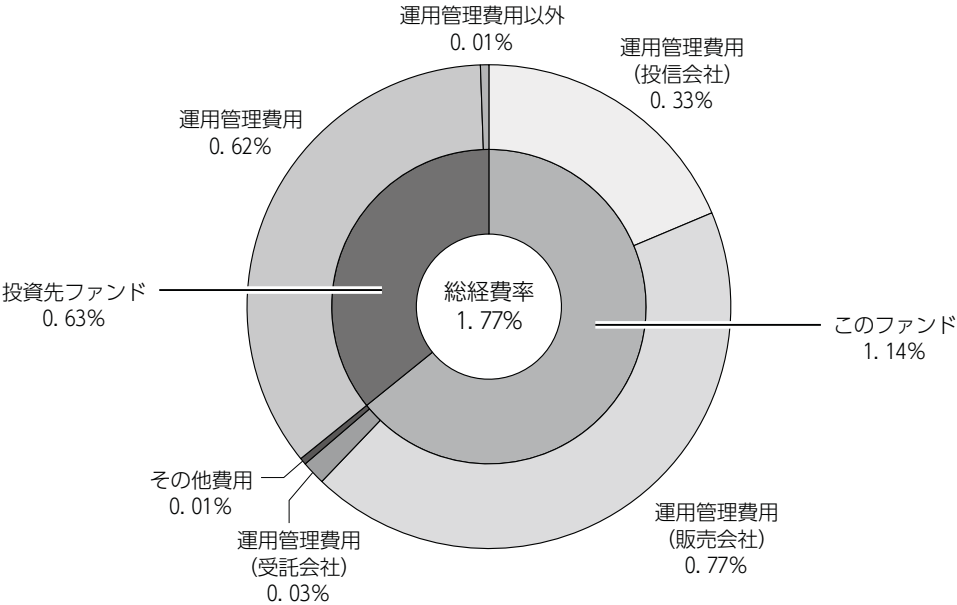
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①このファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注 1) ①の費用は、1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注 3) 各比率は、年率換算した値です。
(注 4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注 5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注 6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注 7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年9月18日から2022年3月17日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 19 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	231.709857	22,932	1,366.27253	135,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年9月18日から2022年3月17日まで)

第 17 期 ～ 第 19 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	50.07762	5,000	99	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	1,366.27253	135,000	98

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 19 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	11,576.895447	1,086,676	99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 16 期 末	第 19 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	180	180	183

(注) 単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

■投資信託財産の構成

2022年 3 月17日現在

項 目	第 19 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,086,676	98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	183	0.0
コール・ローン等、その他	14,140	1.3
投資信託財産総額	1,101,001	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年11月17日)、(2022年 1 月17日)、(2022年 3 月17日) 現在

項 目	第17期末	第18期末	第19期末
(A) 資産	1,227,134,715円	1,229,478,966円	1,101,001,329円
コール・ローン等	13,246,700	15,501,272	14,140,732
投資信託受益証券（評価額）	1,213,704,268	1,213,793,947	1,086,676,868
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	183,747	183,747	183,729
(B) 負債	5,804,412	5,784,601	7,932,452
未払収益分配金	3,420,159	3,442,594	3,286,859
未払解約金	—	—	2,481,503
未払信託報酬	2,366,967	2,307,866	2,114,502
その他未払費用	17,286	34,141	49,588
(C) 純資産総額（A－B）	1,221,330,303	1,223,694,365	1,093,068,877
元本	1,140,053,128	1,147,531,498	1,095,619,904
次期繰越損益金	81,277,175	76,162,867	△ 2,551,027
(D) 受益権総口数	1,140,053,128口	1,147,531,498口	1,095,619,904口
1万口当り基準価額（C／D）	10,713円	10,664円	9,977円

*第16期末における元本額は1,208,494,839円、当作成期間（第17期～第19期）中における追加設定元本額は17,802,814円、同解約元本額は130,677,749円です。

*第19期末の計算口数当りの純資産額は9,977円です。

*第19期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,551,027円です。

■損益の状況

第17期 自2021年 9月18日 至2021年11月17日
 第18期 自2021年11月18日 至2022年 1月17日
 第19期 自2022年 1月18日 至2022年 3月17日

項 目	第17期	第18期	第19期
(A) 配当等収益	6,006,446円	6,029,684円	5,819,835円
受取配当金	6,007,403	6,030,048	5,820,128
受取利息	15	1	1
支払利息	△ 972	△ 365	△ 294
(B) 有価証券売買損益	△ 15,568,201	△ 5,901,656	△ 75,635,024
売買益	1,061,250	46,268	2,281,483
売買損	△ 16,629,451	△ 5,947,924	△ 77,916,507
(C) 信託報酬等	△ 2,384,253	△ 2,324,721	△ 2,129,949
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 11,946,008	△ 2,196,693	△ 71,945,138
(E) 前期繰越損益金	55,674,331	40,069,673	32,837,938
(F) 追加信託差損益金	40,969,011	41,732,481	39,843,032
(配当等相当額)	(51,239,824)	(52,278,730)	(49,970,827)
(売買損益相当額)	(△ 10,270,813)	(△ 10,546,249)	(△ 10,127,795)
(G) 合計 (D + E + F)	84,697,334	79,605,461	735,832
(H) 収益分配金	△ 3,420,159	△ 3,442,594	△ 3,286,859
次期繰越損益金 (G + H)	81,277,175	76,162,867	△ 2,551,027
追加信託差損益金	40,969,011	41,732,481	39,843,032
(配当等相当額)	(51,239,824)	(52,278,730)	(49,970,827)
(売買損益相当額)	(△ 10,270,813)	(△ 10,546,249)	(△ 10,127,795)
分配準備積立金	55,876,361	55,808,123	53,629,957
繰越損益金	△ 15,568,197	△ 21,377,737	△ 96,024,016

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第17期	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,622,189円	3,704,960円	3,689,886円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	51,239,824	52,278,730	49,970,827
(d) 分配準備積立金	55,674,331	55,545,757	53,226,930
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	110,536,344	111,529,447	106,887,643
(f) 分配金	3,420,159	3,442,594	3,286,859
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	107,116,185	108,086,853	103,600,784
(h) 受益権総口数	1,140,053,128□	1,147,531,498□	1,095,619,904□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1 万口当り分配金（税込み）	第17期	第18期	第19期
	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし／隔月分配型

最近15期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分	み 金	期 騰 落	中 率			
	円		円		%	%	%	百万円
5 期末 (2019年11月18日)	10,318		70		2.3	—	99.3	4,047
6 期末 (2020年1月17日)	10,638		70		3.8	—	99.2	4,745
7 期末 (2020年3月17日)	8,702		70	△	17.5	—	99.5	4,345
8 期末 (2020年5月18日)	9,261		70		7.2	—	99.4	4,746
9 期末 (2020年7月17日)	9,777		70		6.3	—	99.1	5,174
10期末 (2020年9月17日)	9,708		70		0.0	—	99.2	5,249
11期末 (2020年11月17日)	9,847		70		2.2	—	98.6	5,426
12期末 (2021年1月18日)	9,860		70		0.8	—	99.4	5,390
13期末 (2021年3月17日)	10,143		70		3.6	—	99.5	5,508
14期末 (2021年5月17日)	10,258		70		1.8	—	99.3	5,782
15期末 (2021年7月19日)	10,436		70		2.4	—	99.0	6,553
16期末 (2021年9月17日)	10,443		70		0.7	—	98.9	7,095
17期末 (2021年11月17日)	10,736		70		3.5	—	99.0	7,658
18期末 (2022年1月17日)	10,583		70	△	0.8	—	99.2	8,460
19期末 (2022年3月17日)	10,283		70	△	2.2	—	99.1	8,570

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

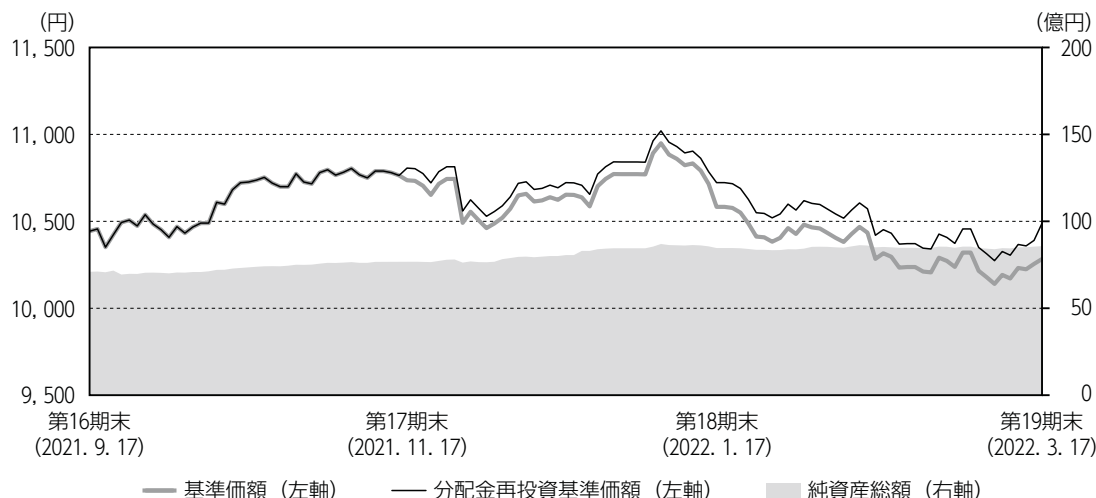
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第17期首：10,443円

第19期末：10,283円（既払分配金210円）

騰落率：0.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している投資適格社債やハイイールド債券などの下落がマイナス要因と

なった一方、円安米ドル高が進んだことがプラス要因となり、基準価額はおおむね横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジーヌビーン・エヌ・ダブルユー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第17期		円	%	%	%
	(期 首) 2021年 9月17日	10, 443	—	—	98. 9
	9 月末	10, 538	0. 9	—	98. 8
	10月末	10, 716	2. 6	—	99. 0
第18期	(期 末) 2021年11月17日	10, 806	3. 5	—	99. 0
	(期 首) 2021年11月17日	10, 736	—	—	99. 0
	11月末	10, 555	△ 1. 7	—	98. 9
	12月末	10, 770	0. 3	—	99. 1
第19期	(期 末) 2022年 1月17日	10, 653	△ 0. 8	—	99. 2
	(期 首) 2022年 1月17日	10, 583	—	—	99. 2
	1 月末	10, 427	△ 1. 5	—	98. 9
	2 月末	10, 291	△ 2. 8	—	99. 3
	(期 末) 2022年 3月17日	10, 353	△ 2. 2	—	99. 1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 9. 18 ～ 2022. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、金利上昇が進み、投資適格社債等の投資対象資産が下落しました。

海外株式市場は、当作成期首から2021年9月末にかけて、世界的なインフレ懸念などを背景に上値の重い展開でしたが、10月に入ると、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、上昇に転じました。その後は、C P I（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次ぎ、年末にかけて株価は堅調に推移しました。2022年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締めへの懸念が高まったことに加え、ロシアのウクライナ侵攻開始の影響を受け、当作成期末にかけて成長株を中心に下落しました。

海外債券市場は、当作成期首より、物資の供給制約長期化を背景にインフレへの懸念が高まったことから金利は上昇基調で始まりましたが、2021年10月以降は、新型コロナウイルスの新変異株への懸念などを背景に、金利は軟調に推移しました。2022年に入ると、F O M C（米国連邦公開市場委員会）後の会見でF R B議長が毎会合での利上げの可能性を否定しなかったことから、金利は上昇しました。2月後半は、ロシアのウクライナ侵攻を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利は一時低下する場面もありましたが、世界のエネルギー調達問題とインフレ動向に注目が集まり、当作成期末にかけて再び金利上昇となりました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首から2021年11月にかけて、利上げ観測の高まりや日米金融政策の方向性の違いを背景に上昇しました。その後、12月には新型コロナウイルスの新変異株への警戒感により米ドルは一時下落する場面もありましたが、米国の利上げ回数の増加観測などを受けて再度上昇に転じました。2022年に入ってから、金融政策の方向性を見極める動きなどからおおむねレンジ内での推移が続きましたが、3月にはF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げ姿勢が鮮明となり、米ドルは上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 9. 18 ～ 2022. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期
	2021年 9月18日 ～2021年11月17日	2021年11月18日 ～2022年 1月17日	2022年 1月18日 ～2022年 3月17日
当期分配金(税込み) (円)	70	70	70
対基準価額比率 (%)	0.65	0.66	0.68
当期の収益 (円)	70	70	70
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,143	1,159	1,177

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第17期	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 97.28円	✓ 83.36円	✓ 87.03円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	109.66	0.00	0.00
(c) 収益調整金	599.57	667.67	695.23
(d) 分配準備積立金	407.02	478.57	465.20
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,213.55	1,229.61	1,247.47
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,143.55	1,159.61	1,177.47

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第17期～第19期 (2021. 9. 18～2022. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,555円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.563	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

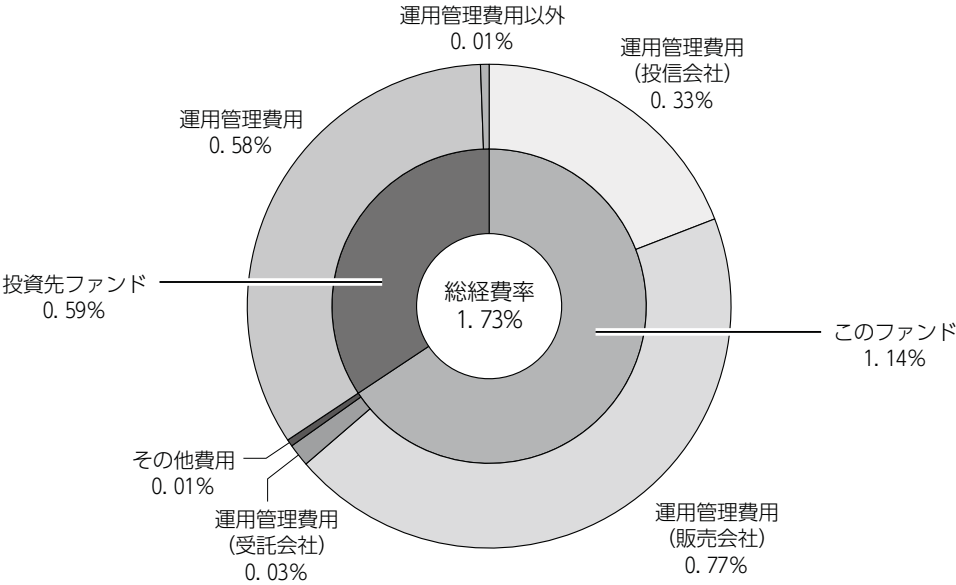
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.73%
①このファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年9月18日から2022年3月17日まで)

決 算 期	第 17 期 ～ 第 19 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	19,579.369788	1,924,500	2,588.974118	250,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年9月18日から2022年3月17日まで)

第 17 期 ～ 第 19 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	17,070.531114	1,680,000	98	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	2,588.974118	250,000	96

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 19 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	89,094.177929	8,496,733	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 16 期 末	第 19 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	737	737	749

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年3月17日現在

項 目	第 19 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,496,733	98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	749	0.0
コール・ローン等、その他	146,924	1.7
投資信託財産総額	8,644,408	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年11月17日)、(2022年1月17日)、(2022年3月17日) 現在

項 目	第17期末	第18期末	第19期末
(A) 資産	7,744,642,986円	8,535,781,356円	8,644,408,119円
コール・ローン等	163,049,429	138,284,743	146,924,666
投資信託受益証券（評価額）	7,580,843,590	8,396,746,646	8,496,733,560
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	749,967	749,967	749,893
(B) 負債	85,701,723	74,962,142	74,126,494
未払収益分配金	49,937,907	55,963,950	58,340,738
未払解約金	21,874,299	3,459,506	1,980
未払信託報酬	13,788,652	15,325,715	15,457,734
その他未払費用	100,865	212,971	326,042
(C) 純資産総額（A－B）	7,658,941,263	8,460,819,214	8,570,281,625
元本	7,133,986,748	7,994,850,031	8,334,391,204
次期繰越損益金	524,954,515	465,969,183	235,890,421
(D) 受益権総口数	7,133,986,748口	7,994,850,031口	8,334,391,204口
1万口当り基準価額（C／D）	10,736円	10,583円	10,283円

*第16期末における元本額は6,794,402,466円、当作成期間（第17期～第19期）中における追加設定元本額は2,248,268,866円、同解約元本額は708,280,128円です。

*第19期末の計算口数当りの純資産額は10,283円です。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

■損益の状況

	第17期	自2021年 9 月18日	至2021年11月17日
	第18期	自2021年11月18日	至2022年 1 月17日
	第19期	自2022年 1 月18日	至2022年 3 月17日
項 目	第17期	第18期	第19期
(A) 配当等収益	73, 341, 850円	82, 084, 015円	88, 108, 172円
受取配当金	73, 348, 607	82, 089, 888	88, 110, 945
受取利息	40	48	2
支払利息	△ 6, 797	△ 5, 921	△ 2, 775
(B) 有価証券売買損益	185, 431, 887	△ 125, 446, 142	△ 254, 929, 505
売買益	188, 386, 921	1, 224, 664	3, 512, 577
売買損	△ 2, 955, 034	△ 126, 670, 806	△ 258, 442, 082
(C) 信託報酬等	△ 13, 889, 517	△ 15, 437, 821	△ 15, 570, 805
(D) 当期損益金 (A + B + C)	244, 884, 220	△ 58, 799, 948	△ 182, 392, 138
(E) 前期繰越損益金	193, 122, 297	382, 613, 407	264, 052, 517
(F) 追加信託差損益金	136, 885, 905	198, 119, 674	212, 570, 780
(配当等相当額)	(427, 738, 685)	(533, 796, 744)	(579, 439, 638)
(売買損益相当額)	(△ 290, 852, 780)	(△ 335, 677, 070)	(△ 366, 868, 858)
(G) 合計 (D + E + F)	574, 892, 422	521, 933, 133	294, 231, 159
(H) 収益分配金	△ 49, 937, 907	△ 55, 963, 950	△ 58, 340, 738
次期繰越損益金 (G + H)	524, 954, 515	465, 969, 183	235, 890, 421
追加信託差損益金	136, 885, 905	198, 119, 674	212, 570, 780
(配当等相当額)	(427, 738, 685)	(533, 796, 744)	(579, 439, 638)
(売買損益相当額)	(△ 290, 852, 780)	(△ 335, 677, 070)	(△ 366, 868, 858)
分配準備積立金	388, 068, 610	393, 295, 628	401, 916, 946
繰越損益金	—	△ 125, 446, 119	△ 378, 597, 305

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第17期	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	69, 405, 531円	66, 646, 171円	72, 537, 353円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	78, 232, 868	0	0
(c) 収益調整金	427, 738, 685	533, 796, 744	579, 439, 638
(d) 分配準備積立金	290, 368, 118	382, 613, 407	387, 720, 331
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	865, 745, 202	983, 056, 322	1, 039, 697, 322
(f) 分配金	49, 937, 907	55, 963, 950	58, 340, 738
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	815, 807, 295	927, 092, 372	981, 356, 584
(h) 受益権総口数	7, 133, 986, 748□	7, 994, 850, 031□	8, 334, 391, 204□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1 万口当り分配金（税込み）	第17期	第18期	第19期
	70円	70円	70円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジあり／資産成長型

最近 5 期の運用実績

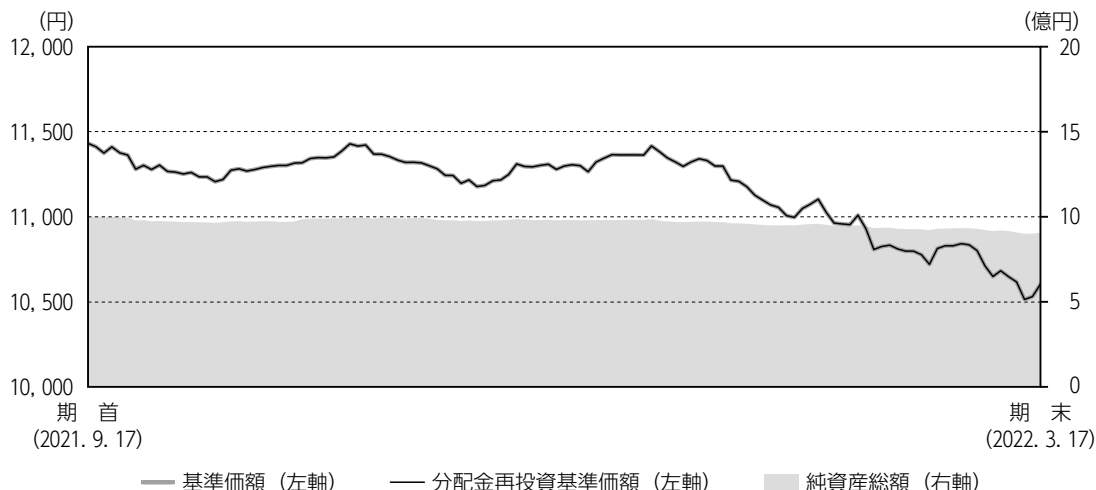
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率				
	円	円	%		%	%	百万円
3 期末 (2020年 3 月17日)	9,482	0	△ 11.6		—	98.0	1,066
4 期末 (2020年 9 月17日)	10,743	0	13.3		—	98.4	1,139
5 期末 (2021年 3 月17日)	10,978	0	2.2		—	99.2	1,050
6 期末 (2021年 9 月17日)	11,432	0	4.1		—	99.3	1,001
7 期末 (2022年 3 月17日)	10,604	0	△ 7.2		—	99.0	907

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：11,432円

期末：10,604円（分配金0円）

騰落率：△7.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している投資適格社債やハ

イールド債券などの下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
		騰 落 率						
(期 首) 2021年 9 月17日	円 11, 432	% —		% —				% 99. 3
9 月末	11, 303	△ 1. 1		—				98. 7
10月末	11, 343	△ 0. 8		—				98. 8
11月末	11, 217	△ 1. 9		—				98. 9
12月末	11, 363	△ 0. 6		—				98. 9
2022年 1 月末	10, 997	△ 3. 8		—				99. 0
2 月末	10, 814	△ 5. 4		—				99. 0
(期 末) 2022年 3 月17日	10, 604	△ 7. 2		—				99. 0

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 9. 18 ～ 2022. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、金利上昇が進み、投資適格社債等の投資対象資産が下落しました。

海外株式市場は、当作成期首から2021年9月末にかけて、世界的なインフレ懸念などを背景に上値の重い展開でしたが、10月に入ると、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、上昇に転じました。その後は、C P I（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次ぎ、年末にかけて株価は堅調に推移しました。2022年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締めへの懸念が高まったことに加え、ロシアのウクライナ侵攻開始の影響を受け、当作成期末にかけて成長株を中心に下落しました。

海外債券市場は、当作成期首より、物資の供給制約長期化を背景にインフレへの懸念が高まったことから金利は上昇基調で始まりましたが、2021年10月以降は、新型コロナウイルスの新変異株への懸念などを背景に、金利は軟調に推移しました。2022年に入ると、F O M C（米国連邦公開市場委員会）後の会見でF R B議長が毎会合での利上げの可能性を否定しなかったことから、金利は上昇しました。2月後半は、ロシアのウクライナ侵攻を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利は一時低下する場面もありましたが、世界のエネルギー調達問題とインフレ動向に注目が集まり、当作成期末にかけて再び金利上昇となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する

証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021. 9. 18 ~ 2022. 3. 17)

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年 9 月18日 ～2022年 3 月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,369

- (注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 9. 18～2022. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,167円です。
（投 信 会 社）	(18)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(43)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	63	0.563	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

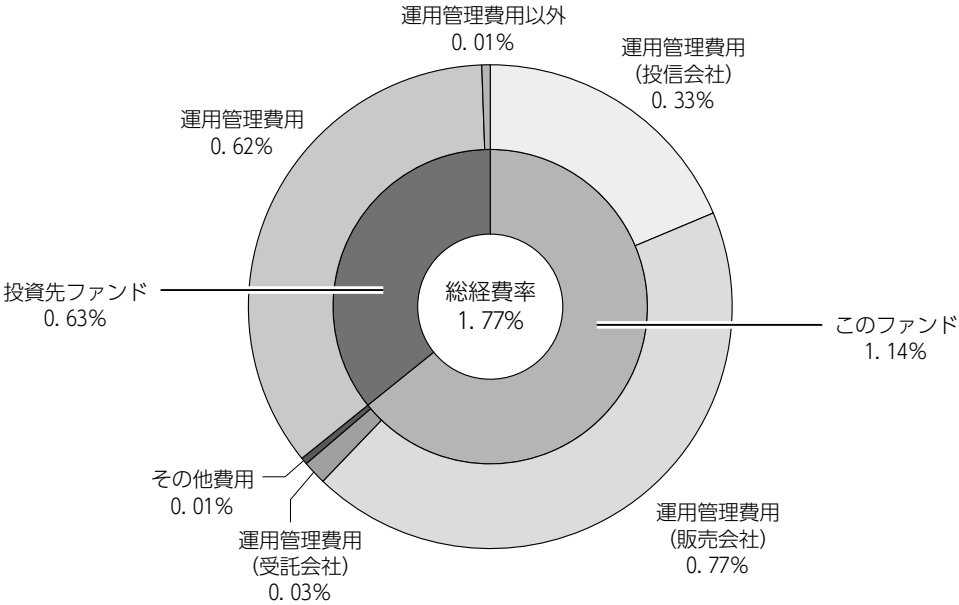
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①このファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注 1) ①の費用は、1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注 3) 各比率は、年率換算した値です。
(注 4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注 5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注 6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注 7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年9月18日から2022年3月17日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	345.191576	34,403	500.896493	50,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年9月18日から2022年3月17日まで)

当 期					期 末			
買 付					売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円			千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	199.25487	20,000	100		NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	500.896493	50,000	99

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	9,568.495082	898,156	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	95	95	96

(注) 単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

■投資信託財産の構成

項 目	2022年 3月17日現在	
	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	898,156	98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	96	0.0
コール・ローン等、その他	15,757	1.7
投資信託財産総額	914,010	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年 3月17日現在	
項 目	当 期 末
(A) 資産	914,010,844円
コール・ローン等	15,757,628
投資信託受益証券（評価額）	898,156,359
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	96,857
(B) 負債	6,829,674
未払解約金	1,377,334
未払信託報酬	5,412,817
その他未払費用	39,523
(C) 純資産総額（A－B）	907,181,170
元本	855,485,123
次期繰越損益金	51,696,047
(D) 受益権総口数	855,485,123口
1万口当り基準価額（C／D）	10,604円

* 期首における元本額は876,056,473円、当作成期間中における追加設定元本額は46,040,759円、同解約元本額は66,612,109円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,604円です。

■損益の状況

当期 自2021年 9月18日 至2022年 3月17日	
項 目	当 期
(A) 配当等収益	14,179,586円
受取配当金	14,181,017
受取利息	4
支払利息	△ 1,435
(B) 有価証券売買損益	△ 78,637,102
売買益	1,592,762
売買損	△ 80,229,864
(C) 信託報酬等	△ 5,452,340
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 69,909,856
(E) 前期繰越損益金	68,332,653
(F) 追加信託差損益金	53,273,250
（配当等相当額）	(40,102,460)
（売買損益相当額）	(13,170,790)
(G) 合計（D＋E＋F）	51,696,047
次期繰越損益金（G）	51,696,047
追加信託差損益金	53,273,250
（配当等相当額）	(40,102,460)
（売買損益相当額）	(13,170,790)
分配準備積立金	77,059,899
繰越損益金	△ 78,637,102

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,727,246円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	40,102,460
(d) 分配準備積立金	68,332,653
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	117,162,359
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	117,162,359
(h) 受益権総口数	855,485,123口

為替ヘッジなし／資産成長型

最近 5 期の運用実績

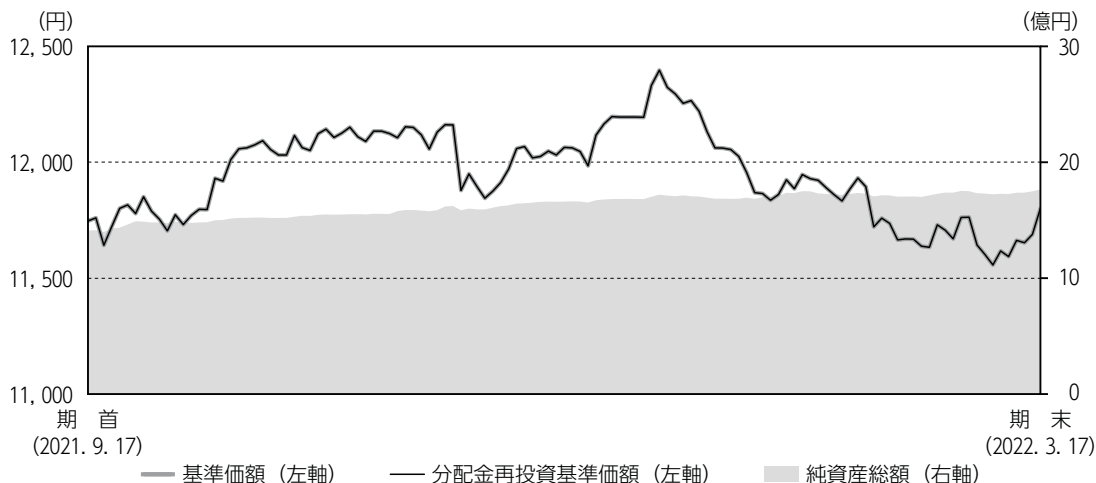
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率				
	円	円	%		%	%	百万円
3 期末（2020年 3 月17日）	9, 192	0	△ 12. 6		—	99. 3	1, 095
4 期末（2020年 9 月17日）	10, 480	0	14. 0		—	99. 3	1, 216
5 期末（2021年 3 月17日）	11, 185	0	6. 7		—	99. 1	1, 172
6 期末（2021年 9 月17日）	11, 747	0	5. 0		—	99. 1	1, 411
7 期末（2022年 3 月17日）	11, 801	0	0. 5		—	99. 1	1, 765

（注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注 2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注 3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注 4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当学期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：11,747円

期 末：11,801円（分配金 0 円）

騰落率：0.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している投資適格社債やハイイールド債券などの下落がマイナス要因と

なった一方、円安米ドル高が進んだことがプラス要因となり、基準価額はおおむね横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
		騰 落 率					
(期 首) 2021年 9 月17日	円 11,747	% —		% —			% 99.1
9 月末	11,851	0.9		—			99.3
10月末	12,051	2.6		—			99.1
11月末	11,950	1.7		—			98.8
12月末	12,194	3.8		—			99.3
2022年 1 月末	11,886	1.2		—			99.2
2 月末	11,730	△ 0.1		—			99.2
(期 末) 2022年 3 月17日	11,801	0.5		—			99.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 9. 18 ～ 2022. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、金利上昇が進み、投資適格社債等の投資対象資産が下落しました。

海外株式市場は、当作成期首から2021年9月末にかけて、世界的なインフレ懸念などを背景に上値の重い展開でしたが、10月に入ると、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、上昇に転じました。その後は、C P I（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次ぎ、年末にかけて株価は堅調に推移しました。2022年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締めへの懸念が高まったことに加え、ロシアのウクライナ侵攻開始の影響を受け、当作成期末にかけて成長株を中心に下落しました。

海外債券市場は、当作成期首より、物資の供給制約長期化を背景にインフレへの懸念が高まったことから金利は上昇基調で始まりましたが、2021年10月以降は、新型コロナウイルスの新変異株への懸念などを背景に、金利は軟調に推移しました。2022年に入ると、F O M C（米国連邦公開市場委員会）後の会見でF R B議長が毎会合での利上げの可能性を否定しなかったことから、金利は上昇しました。2月後半は、ロシアのウクライナ侵攻を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利は一時低下する場面もありましたが、世界のエネルギー調達問題とインフレ動向に注目が集まり、当作成期末にかけて再び金利上昇となりました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首から2021年11月にかけて、利上げ観測の高まりや日米金融政策の方向性の違いを背景に上昇しました。その後、12月には新型コロナウイルスの新変異株への警戒感により米ドルは一時下落する場面もありましたが、米国の利上げ回数の増加観測などを受けて再度上昇に転じました。2022年に入ってから、金融政策の方向性を見極める動きなどからおおむねレンジ内での推移が続きましたが、3月にはF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げ姿勢が鮮明となり、米ドルは上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 9. 18 ～ 2022. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2021年 9 月18日 ～2022年 3 月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,184

(注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 9. 18～2022. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	67円	0.559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,949円です。
（投 信 会 社）	(20)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(46)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	67	0.563	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

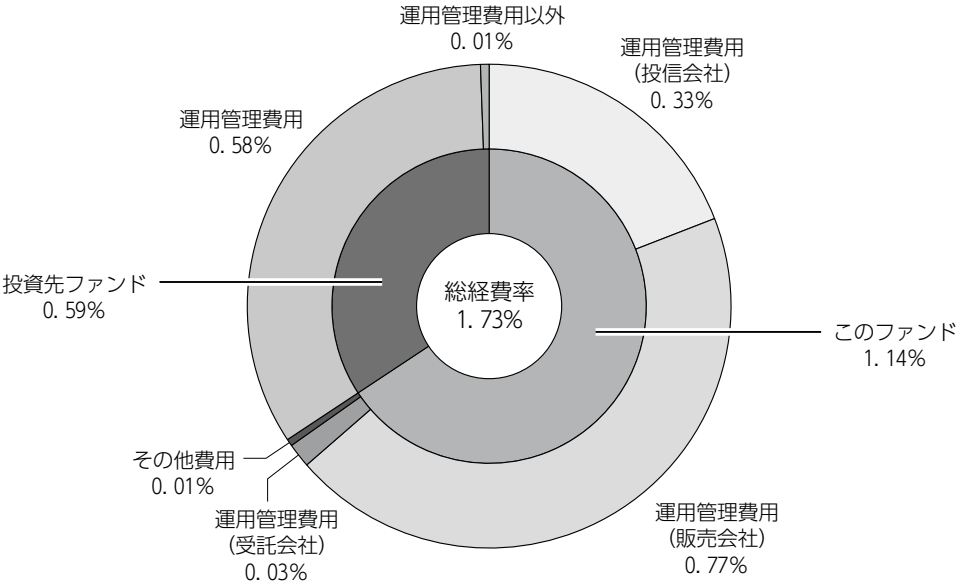
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.73%
①このファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年9月18日から2022年3月17日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国 (邦貨建)	4, 192. 239591	409, 850	205. 562522	20, 000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年9月18日から2022年3月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円		千□	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	3, 680. 721578	360, 000	97	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	205. 562522	20, 000	97

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千□	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	18, 351. 416413	1, 750, 137	99. 1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	337	337	343

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

項 目	2022年 3月17日現在 当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,750,137	98.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	343	0.0
コール・ローン等、その他	34,351	1.9
投資信託財産総額	1,784,833	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年 3月17日現在	
項 目	当 期 末
(A) 資産	1,789,833,164円
コール・ローン等	34,351,791
投資信託受益証券（評価額）	1,750,137,880
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	343,493
未収入金	5,000,000
(B) 負債	24,634,422
未払金	10,000,000
未払解約金	5,489,326
未払信託報酬	9,078,759
その他未払費用	66,337
(C) 純資産総額（A－B）	1,765,198,742
元本	1,495,782,906
次期繰越損益金	269,415,836
(D) 受益権総口数	1,495,782,906口
1万口当り基準価額（C／D）	11,801円

* 期首における元本額は1,201,782,884円、当作成期間中における追加設定元本額は404,800,273円、同解約元本額は110,800,251円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,801円です。

■損益の状況

当期 自2021年 9月18日 至2022年 3月17日	
項 目	当 期
(A) 配当等収益	48,696,593円
受取配当金	48,699,857
受取利息	13
支払利息	△ 3,277
(B) 有価証券売買損益	△ 38,136,143
売買益	1,102,042
売買損	△ 39,238,185
(C) 信託報酬等	△ 9,145,096
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,415,354
(E) 前期繰越損益金	126,166,724
(F) 追加信託差損益金	141,833,758
（配当等相当額）	（ 161,104,842）
（売買損益相当額）	（△ 19,271,084）
(G) 合計（D＋E＋F）	269,415,836
次期繰越損益金（G）	269,415,836
追加信託差損益金	141,833,758
（配当等相当額）	（ 161,104,842）
（売買損益相当額）	（△ 19,271,084）
分配準備積立金	165,718,221
繰越損益金	△ 38,136,143

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	39,551,497円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	161,104,842
(d) 分配準備積立金	126,166,724
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	326,823,063
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	326,823,063
(h) 受益権総口数	1,495,782,906口

グローバル・マルチ・ストラテジー –ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・
フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー–ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2022年3月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2020年12月31日

US\$

資産

現金および現金同等物	8, 273, 695
ブローカーからの預託貸越	26, 831
金融資産（損益通算後の評価額）	1, 858, 958, 627
発行済み受益証券の未収金	19, 569, 664
受取勘定	19, 354, 115

資産合計

1, 906, 182, 932

負債

金融負債（損益通算後の評価額）	9, 913
償還済み受益証券の支払	48, 429
支払勘定	4, 982, 594

負債合計（償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）

5, 040, 936

償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産

1, 901, 141, 996

包括利益計算書

2020年12月31日に終了した年度

US\$

投資収益

金融資産（損益通算後の評価額）からの配当収益	17,849,978
現金および現金同等物からの受取利息	82,859
債券（損益通算後の評価額）からの受取利息	54,032,463
純外国為替損失	(87,520)
金融資産（損益通算後の評価額）からの純利益	37,058,734
投資収益合計	108,936,514

費用

受託会社報酬	147,122
運用会社報酬	7,234,873
運用実績報酬	67,481
管理会社報酬	588,487
保管会社報酬	467,896
為替運用会社報酬	110,100
為替計算代理人報酬	19,750
監査報酬	29,753
金融商品の減損損失	—
逆イールド費用	98
その他の報酬・費用	16,159
費用合計	8,681,719

営業利益

100,254,795

金融費用

分配金	(71,698,594)
金融費用合計	(71,698,594)

償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の増加（税引前）

28,556,201

源泉徴収税

(5,671,337)

償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の増加

22,884,864

(米ドル建て)

投資明細表
2020年12月31日

銘柄名	評価額 (\$)	純資産に 占める 割合 (%)	銘柄名	評価額 (\$)	純資産に 占める 割合 (%)
ハイイールド債券			HARSCO CORP HSC 5 3/4 07/31/27	12,763,093	0.67
オランダ			HAT HOLDINGS I HASI 5 1/4 07/15/24	10,514,378	0.56
ALTICE FINANCING ALTICE 7 1/2 05/15/26	17,770,548	0.94	HAT HOLDINGS I HASI 6 04/15/25	9,305,520	0.49
カナダ			HCA INC HCA 5 7/8 05/01/23	9,672,026	0.51
ALGONQUIN POWER AQNCN 6.2 07/01/79	10,880,753	0.58	HEALTHSOUTH CORP EHC 5 3/4 09/15/25	2,264,671	0.12
AUTOMATION TOOLI ATACN 4 1/8 12/15/28	4,401,679	0.23	ITRON INC ITRI 5 01/15/26	11,691,001	0.62
AUTOMATION TOOLI ATACN 6 1/2 06/15/23	10,837,339	0.57	KENNEDY-WILSON KW 5 7/8 04/01/24	3,346,484	0.18
EMERA INC EMACN 6 3/4 06/15/76	31,516,560	1.67	L BRANDS INC LB 6 7/8 11/01/35	16,392,502	0.87
米国			LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/2 07/15/29	13,371,343	0.71
ALBERTSONS COS ACI 7 1/2 03/15/26	22,117,446	1.17	LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/4 02/01/30	2,333,207	0.12
ALLIANCE DATA ADS 4 3/4 12/15/24	8,425,825	0.45	MEDNAX INC MD 6 1/4 01/15/27	20,968,361	1.11
ALLY FINANCIAL ALLY 5 3/4 11/20/25	12,770,713	0.68	MOLINA HEALTHCAR MOH 3 7/8 11/15/30	6,091,770	0.32
AMER AXLE & MFG AXL 6 1/2 04/01/27	3,206,250	0.17	NATL GEN HLDG NGHC 7 5/8 09/15/55	768,308	0.04
AMER AXLE & MFG AXL 6 1/4 04/01/25	6,327,914	0.33	NEXSTAR BROADCAST NXST 4 3/4 11/01/28	2,938,494	0.16
AMKOR TECH INC AMKR 6 5/8 09/15/27	21,748,846	1.15	NEXSTAR ESCROW NXST 5 5/8 07/15/27	23,671,820	1.25
ASHLAND INC ASH 6 7/8 05/15/43	12,257,913	0.65	PG&E CORP PCG 5 1/4 07/01/30	5,242,488	0.28
AVANTOR FUNDING AVTR 4 5/8 07/15/28	12,117,728	0.64	SEAGATE HDD CAYM STX 4 7/8 06/01/27	14,735,746	0.78
BLUE CUBE SPINCO OLN 10 10/15/25	8,854,861	0.47	SEAGATE HDD CAYM STX 4.091 06/01/29	10,548,373	0.56
BLUE CUBE SPINCO OLN 9 3/4 10/15/23	2,389,630	0.13	SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 07/15/33	24,723,970	1.31
CCO HOLDINGS LLC CHTR 5 1/8 05/01/27	9,065,976	0.48	SEG HLD/SEG FIN SEGHL 5 5/8 10/15/28	8,686,655	0.46
CENTURYLINK INC LUMN 7.65 03/15/42	6,704,936	0.35	SS&C TECH INC SSNC 5 1/2 09/30/27	11,603,622	0.61
CNF INC CNW 6.7 05/01/34	15,276,479	0.81	STEVENS HOLDING AIMC 6 1/8 10/01/26	13,071,459	0.69
DANA FIN LUX SAR DAN 5 3/4 04/15/25	5,668,050	0.30	TEREX CORP TEX 5 5/8 02/01/25	14,510,716	0.77
DANA FIN LUX SAR DAN 6 1/2 06/01/26	12,065,097	0.64	TR OP / TR FIN TRINSE 5 3/8 09/01/25	24,388,262	1.29
DISH DBS CORP DISH 6 3/4 06/01/21	9,386,390	0.50	TRIPADVISOR INC TRIP 7 07/15/25	13,417,006	0.71
DISH DBS CORP DISH 7 3/4 07/01/26	9,787,044	0.52	UNITED RENTAL NA URI 5 1/4 01/15/30	12,861,923	0.68
DONNELLEY FIN DFIN 8 1/4 10/15/24	5,591,793	0.30	US CELLULAR CORP USM 6 1/4 09/01/69	7,617,195	0.40
EMBARQ CORP LUMN 7.995 06/01/36	4,650,422	0.25	US CELLULAR CORP USM 7 1/4 12/01/63	1,865,268	0.10
EMERGENT BIOSOLU EBS 3 7/8 08/15/28	13,379,230	0.71	US CELLULAR CORP USM 7 1/4 12/01/64	3,756,667	0.20
ENCOMPASS HLTH EHC 4 3/4 02/01/30	6,266,943	0.33	VIASAT INC VSAT 5 5/8 04/15/27	9,562,184	0.51
ENCOMPASS HLTH EHC 4 5/8 04/01/31	4,049,608	0.21	VIASAT INC VSAT 5 5/8 09/15/25	4,635,557	0.25
ENSTAR FINANCE ESGR 5 3/4 09/01/40	5,449,335	0.29	VISTRA OPERATION VST 5 07/31/27	8,890,997	0.47
ENTEGRIS INC ENTG 4 3/8 04/15/28	8,176,011	0.43	XPO LOGISTICS XPO 6 1/2 06/15/22	8,124,572	0.43
ENVIVA PRTNRS EVA 6 1/2 01/15/26	15,168,977	0.80	XPO LOGISTICS XPO 6 1/4 05/01/25	8,475,142	0.45
FORD MOTOR CO F 8 1/2 04/21/23	17,224,543	0.91	転換社債		
FORD MOTOR CO F 9 04/22/25	8,411,175	0.44	米国		
GCI LLC GCILLC 4 3/4 10/15/28	16,300,282	0.86	AVANTOR INC AVTR 6 1/4 05/15/22	23,178,837	1.23
GREYSTAR REAL ES GRSTAR 5 3/4 12/01/25	9,074,067	0.48	BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 PERP	18,304,963	0.97
			BROADCOM INC AVGO 8 09/30/22	15,362,676	0.81
			CENTERPOINT ENER CNP 7 09/01/21	11,359,128	0.60
			CHANGE HEALTHCAR CHNG 6 06/30/22	9,804,383	0.52
			CITIGROUP GLOBAL C 10 01/22/21	13,905,514	0.74

銘柄名	評価額(\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額(\$)	純資産に 占める 割合(%)
JPMORGAN CHASE JPM 0 05/10/21	10,051,872	0.53	GENERAL MOTORS C GM 6.6 04/01/36	26,066,480	1.38
LIBERTY MEDIA LINTA 3 3/4 02/15/30	6,672,563	0.35	HCA INC HCA 5 1/8 06/15/39	7,649,824	0.40
LIBERTY MEDIA LINTA 4 11/15/29	11,222,750	0.59	HP ENTERPRISE HPE 6.35 10/15/45	48,927,739	2.59
MER LYNCH INT CV BAC 0.09 05/12/21	9,977,127	0.53	LAM RESEARCH LRCX 4 7/8 03/15/49	14,027,204	0.74
MER LYNCH INT CV BAC 0.12 02/18/21	12,447,795	0.66	LIBERTY MUTUAL LIBMUT 7.8 03/15/37	4,455,842	0.24
MER LYNCH INT CV BAC 10 06/29/21	9,674,450	0.51	MCDONALD'S CORP MCD 4 7/8 12/09/45	27,520,823	1.46
NEXTERA ENERGY NEE 4.872 09/01/22	17,440,320	0.92	NEXTERA ENERGY NEE 5.65 05/01/79	23,532,750	1.24
NEXTERA ENERGY NEE 6.219 09/01/23	6,431,524	0.34	NIKE INC NKE 2 3/4 03/27/27	2,838,848	0.15
SEMPRA ENERGY SRE 6 3/4 07/15/21	18,090,512	0.96	NIKE INC NKE 2.85 03/27/30	6,097,431	0.32
SOUTHERN CO SO 6 3/4 08/01/22	14,557,950	0.77	NORDSTROM INC JWN 5 01/15/44	15,494,896	0.82
WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 PERP	24,770,610	1.31	NORDSTROM INC JWN 8 3/4 05/15/25	11,905,477	0.63
投資適格社債			OFFICE PPTY INCO OPI 4 1/2 02/01/25	4,269,226	0.23
カナダ			PHILLIPS 66 PSX 4.65 11/15/34	14,063,223	0.74
TRANSCANADA TRUS TRPCN 5 7/8	15,971,896	0.84	PROCTER & GAMBLE PG 3 03/25/30	7,543,437	0.40
08/15/76			RAYMOND JAMES RJF 4.65 04/01/30	3,712,975	0.20
フランス			RAYMOND JAMES RJF 4.95 07/15/46	5,564,468	0.29
ARCELORMITTAL MTNA 7 10/15/39	9,751,676	0.52	THERMO FISHER TMO 4.133 03/25/25	7,265,951	0.38
ペルー			VIACOM INC VIAC 6 7/8 04/30/36	38,266,589	2.02
SOUTHERN COPPER SCCO 5 7/8 04/23/45	13,928,745	0.74	VMWARE INC VMW 4.7 05/15/30	21,751,691	1.15
ベルギー			普通株		
ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	15,120,366	0.80	ドイツ		
ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	3,139,422	0.17	FRESENIUS MEDICAL CARE-AD	4,721,216	0.25
英国			SIEMENS AG-SPONS ADR	2,761,529	0.15
ASHTREAD CAPITAL AHTLN 4 05/01/28	12,344,717	0.65	フランス		
米国			THALES SA - UNSP ADR	5,154,087	0.27
AIR PROD & CHEM APD 2.8 05/15/50	15,170,943	0.80	英国		
ALEXANDRIA REAL ARE 4.7 07/01/30	4,527,900	0.24	ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	11,292,741	0.60
ALTRIA GROUP INC MO 5.8 02/14/39	18,899,524	1.00	GLAXOSMITHKLINE PLC-SPON	15,928,880	0.84
ANALOG DEVICES ADI 2.95 04/01/25	6,819,087	0.36	米国		
BRDCOM CRP / FIN AVGO 3 7/8 01/15/27	7,391,195	0.39	ARES CAPITAL CORP	4,761,291	0.25
BRISTOL-MYERS BMY 3.9 02/20/28	10,509,785	0.56	AT&T INC	4,794,292	0.25
BROADCOM INC AVGO 4 3/4 04/15/29	25,553,275	1.35	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	19,061,819	1.01
CENTENE CORP CNC 4 5/8 12/15/29	10,538,716	0.56	CISCO SYSTEMS INC	8,533,825	0.45
CENTENE CORP CNC 5 3/8 06/01/26	22,401,851	1.18	ENTERGY CORP	9,734,400	0.51
CHARTER COMM OPT CHTR 6.484	20,223,636	1.07	HEALTHCARE REALTY TRUST I	4,676,800	0.25
10/23/45			MEDTRONIC PLC	5,001,878	0.26
CHENIERE CORP CH CHCOCH 5 1/8	4,849,098	0.26	NEXTERA ENERGY PARTNERS L	9,463,437	0.50
06/30/27			VISTRA CORP	4,325,043	0.23
CIT GROUP INC CIT 5 08/01/23	6,290,333	0.33	優先証券		
CITIGROUP INC C 4 PERP	2,982,892	0.16	英国		
CON EDISON CO ED 3.95 04/01/50	11,497,411	0.61	LLOYDS BANK PLC LLOYDS 12 PERP	3,360,317	0.18
CROWN CASTLE INT CCI 3.3 07/01/30	15,092,222	0.80	米国		
DELL INT / EMC DELL 6.02 06/15/26	13,818,297	0.73	ATHENE HOLDING ATH 6 3/8 PERP	8,545,505	0.45
EDISON INTL EIX 5 3/4 06/15/27	8,751,301	0.46	ATHENE HOLDING ATH 6.35 PERP	6,724,327	0.36
GENERAL DYNAMICS GD 3 5/8 04/01/30	11,072,175	0.59	BANK OF AMER CRP BAC 6 1/2 PERP	8,579,999	0.45
GENERAL MOTORS C GM 5.4 10/02/23	4,532,052	0.24	BANK OF AMER CRP BAC 6.1 PERP	9,967,123	0.53

NWQグローバル厳選証券ファンド

銘柄名	評価額(\$)	純資産に
		占める割合(%)
BANK OF AMER CRP BAC 6.3 PERP	3,204,698	0.17
CAPITAL ONE FINL COF 5 PERP	7,838,732	0.41
CAPITAL ONE FINL COF Float PERP	9,848,186	0.52
CHS INC CHSINC 6 3/4 PERP	4,517,957	0.24
CHS INC CHSINC 7 7/8 PERP	7,645,493	0.40
CHS INC CHSINC 7.1 PERP	3,724,588	0.20
CIT GROUP INC CIT 5.8 PERP	5,399,211	0.29
CITIGROUP INC C 6 1/4 PERP	20,525,931	1.09
CITIGROUP INC C 7 1/8 PERP	9,971,832	0.53
DIGITAL REALTY DLR 6 5/8 PERP	3,472,137	0.18
ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 PERP	6,665,233	0.35
GEN MOTORS FIN GM 5.7 PERP	9,117,511	0.48
GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 PERP	6,423,114	0.34
GMAC CAP TR I ALLY 6.007 02/15/40	5,585,825	0.30
GOLDMAN SACHS GP GS 5.3 PERP	6,873,302	0.36
HUNTINGTON BANCS HBAN 6 1/4 PERP	7,882,056	0.42
JPMORGAN CHASE JPM 6 3/4 PERP	22,084,361	1.17
JPMORGAN CHASE JPM 6.1 PERP	27,800	0.00
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 PERP	735,542	0.04
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 PERP	800,582	0.04
MORGAN STANLEY MS 6 7/8 PERP	2,237,336	0.12
MORGAN STANLEY MS 7 1/8 PERP	6,998,110	0.37
NATIONAL STORAGE NSA 6 PERP	5,272,933	0.28
PNC FINANCIAL PNC 6 1/8 PERP	2,089,376	0.11
PNC FINANCIAL PNC 6 3/4 PERP	10,586,658	0.56
SEMPRA ENERGY SRE 4 7/8 PERP	9,861,362	0.52
SYNCHRONY FINANC SYF 5 5/8 PERP	2,862,240	0.15
VEREIT INC VER 6.7 PERP	795,469	0.04
WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 PERP	7,670,438	0.41
ZIONS BANCORP ZION 7.2 PERP	814,650	0.04

＜補足情報＞

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なりますので、2022年3月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年9月18日～2022年3月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年3月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2021年12月9日）

（作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

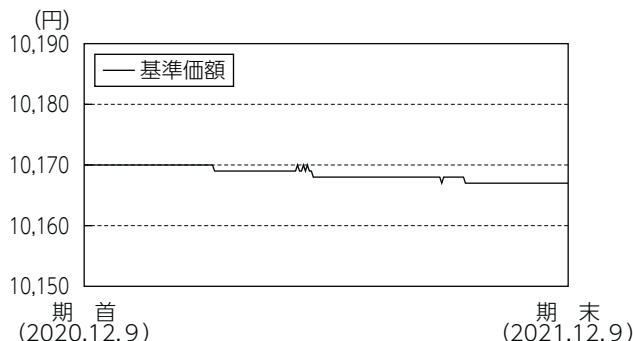
運 用 方 針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	本邦通貨表示の公社債
株 式 組 入 制 限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2020年12月9日	円	%	%
	10,170	—	—
12月末	10,170	0.0	—
2021年1月末	10,170	0.0	—
2月末	10,170	0.0	—
3月末	10,169	△0.0	—
4月末	10,169	△0.0	—
5月末	10,169	△0.0	—
6月末	10,168	△0.0	—
7月末	10,168	△0.0	—
8月末	10,168	△0.0	—
9月末	10,167	△0.0	—
10月末	10,167	△0.0	—
11月末	10,167	△0.0	—
(期末)2021年12月9日	10,167	△0.0	—

- (注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,170円 期末：10,167円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

その他有価証券

(2020年12月10日から2021年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国内短期社債等	千円 110,997,998	千円 111,997,992 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) (—)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	6,782,301	100.0
投資信託財産総額	6,782,301	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,782,301,285円
コール・ローン等	6,782,301,285
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	6,782,301,285
元本	6,671,046,264
次期繰越損益金	111,255,021
(D) 受益権総口数	6,671,046,264口
1万口当り基準価額(C／D)	10,167円

* 期首における元本額は66,337,383,629円、当作成期間中における追加設定元本額は24,638,372,125円、同解約元本額は84,304,709,490円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ日経225－シフト11－ 2019－03 (適格機関投資家専用)	531,632,690円
ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,965,311,641円
ターゲット・リターン (コスト控除後3%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	129,833円
ターゲット・リターン (コスト控除後5%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	160,914円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド－AⅠ新時代－ (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド－AⅠ新時代－ (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ／“RICI” [®] コモディティ・ファンド	2,074,249円
U.S.債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり／年1回決算型)	1,676円
U.S.債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし／年1回決算型)	1,330円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／毎月分配型)	983円
D/Cダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,082,297,237円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド－パラダイムシフト－	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ	80,587,771円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	979,761円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,167円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,353,364円
受取利息	34,938
支払利息	△ 6,388,302
(B) その他費用	△ 30,929
(C) 当期損益金(A+B)	△ 6,384,293
(D) 前期繰越損益金	1,128,566,954
(E) 解約差損益金	△1,428,973,017
(F) 追加信託差損益金	418,045,377
(G) 合計(C+D+E+F)	111,255,021
次期繰越損益金(G)	111,255,021

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。